

# 令和元年度の主な事業

## 1 保健・医療・福祉

○子ども・妊産婦医療費助成事業

継続

1億5,257万円

保険適用分の医療費について、0歳から就学前までの子どもと妊産婦の自己負担分を全額助成し、小中学生の自己負担分を一部助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。

## 2 教育・文化

○統合小学校大規模改造工事

新規

1億7,398万円

上田地区の統合小学校「上田小学校」を、旧第一上田小学校を活用して整備しました。



上田小学校

○トミオカホワイト美術館大規模改修事業

新規

4,438万円

開館から28年が経過し老朽化が進んでいたトミオカホワイト美術館の、屋根・外壁張替え工事を行いました。

## 3 環境共生

○地盤沈下対策事業

継続

1,809万円

地下水水位などを観測しつつ、地盤沈下や湧水対策に有効な施策の研究を行いました。また、地下水利用の適正化を促進するため、高性能降雪検知器の設置に対し、費用の一部を助成しました。

## 4 都市基盤

○街路新設改良事業

継続

7億3,603万円

市民生活の利便性向上を図るため、都市計画決定された街路（道路）の改良を行いました。

平成30年度繰越事業

4億1,308万円

引き続き、樋渡東西線の線路アンダーパス工事・アプローチ部工事を進めました。



樋渡東西線工事

○住宅リフォーム事業

拡充

5,098万円

市民の生活環境の向上と、子育て世帯の定住促進、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を目的に、市内業者による住宅リフォーム工事を対象に補助を行いました。令和元年度は制度を見直し、「みんな住マイル」改修補助金として子育て世帯に15万円、その他の世帯に10万円を上限に補助しました。

## 5 産業振興

○プレミアム付商品券事業

新規

1億2,675万円

消費税・地方消費税増税に伴う経済対策として、地域の消費喚起のため、低所得者・子育て世帯にプレミアム付商品券の発行・販売を行いました。

## 6 行財政改革・市民参画

○雪資源活用事業

拡充

1,519万円

東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、環境にやさしいエネルギーとして雪の魅力と南魚沼市の産業をPRするため、雪を保存し首都圏中心のイベントで雪のクレーンなどを実施しました。

### 歳出

### ～前年度からの主な増減理由～

### 歳入

- ・都市計画税の廃止に伴う減 (市税 △5,628万円)
- ・保育料無償化に伴う保育園入園費負担金の減 (分担金及び負担金 △1億1,588万円)
- ・ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の増 (寄附金 +5億5,581万円)
- ・ふるさと納税に関係する基金からの繰入金金の増 (繰入金 +2億1,678万円)
- ・臨時財政対策債の減 (市債 △2億4,810万円)

- ・プレミアム付商品券事業による増 (商工費 +1億2,675万円)
- ・小学校大規模改造事業費(上田小学校)の増 (教育費 +1億6,652万円)
- ・上水道事業対策費の減 (衛生費 △2億5,474万円)
- ・ふるさと応援基金積立金の増 (総務費 +1億5,816万円)
- ・消防車両整備事業費の減 (消防費 △1億4,576万円)